

平成 23 年 11 月 20 日



森づくり集団「^{しほり}栞」事務局通信 Vol.38 号

【今月の活動報告】【次回の活動予定】
【お知らせ/募集】【編集後記】



アオハダの実

2011.11.13hiro撮影 那須高原



サルオガセ 2011.11.13hiro 撮影 那須高原
猿麻がせ 葉緑素をもち、霧を食べる地衣類です。

【今月の活動報告】

11月6日(日)10:00～

下富第2フィールド

参加者 / 緑川・豊島・土金・神座・渡部・田中・中島・小林

活動担当者 / 土金・小林(記)

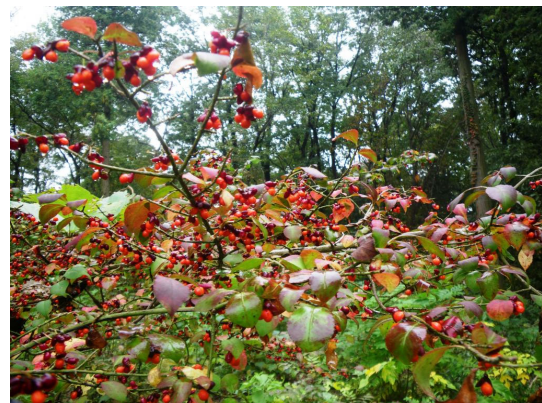
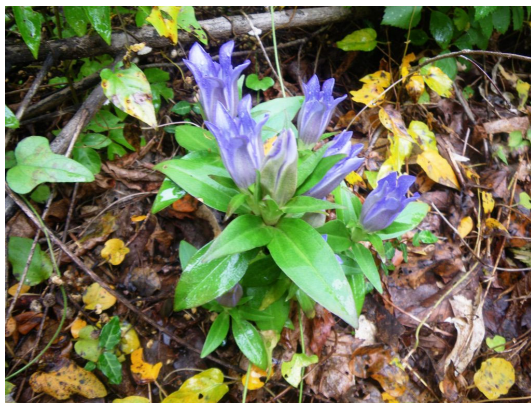
(敬称略)

恒例となった「サークル埼玉」の皆さんとのイベント活動を予定しておりましたが、生憎の雨模様のため安全を考慮して延期としました。「菜」としては、当日の朝の天気を見て何とか持ちそうな事から実施しました。

下富第2フィールドの北側の今夏に下刈りを実施しました場所に、コナラ苗木を約15本移植しました。



午後には、12月の実施場所の下刈り作業を行い、1時過ぎに降り出した雨のために早々と終了としました。



淡い紫色の lindou の花が、彼方此方にと、時雨降る中に咲いていました。ガマズミの赤い実が、雨のためにより一層鮮やかな輝きを見せていました。鳥に食べられて種子が散布されます。

H23秋の観察会

11月12日(土)～13日(日)

奥塩原・那須高原を訪ねて

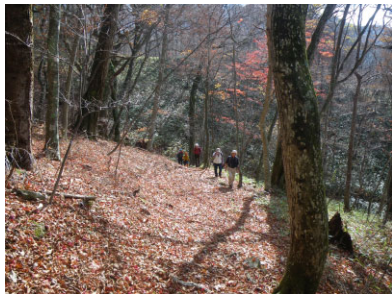
参加者 / 吉田ひ、森、北村み、緑川、小林

活動担当者 / 土金

(敬称略)

今回は、奥塩原と那須高原のトレッキングと奥塩原新湯温泉の外湯巡りです。

昨日の雨が上がり、すがすがしい秋晴れの中、日光へ向かう。男体山、女峰山の雄大な山並みが眼に飛び込んできた。鬼怒楯岩大吊橋から鬼怒川下りの船を眺めた後、紅葉真っ盛りの日塩もみじラインを登り、奥塩原新湯に到着。



新湯温泉神社にお参りし、爆裂火口跡を見下ろす展望台で昼食を取り、新湯富士山を目指して出発。ミズナラ、ブナ、クリなどの原生林が素晴らしい。時折、真っ赤な紅葉が姿を見せる。クロベが林立する富士山の山頂から、大沼園地に入る。ヨシの茂る木道を湖面まで迎



る。赤いカンボクの実や緑のヤドリギが枯れた風景にアクセントをつけていた。カルガモやマガモが浮かぶ湖を一周し、園地の休憩舎に到着。ヨシ沼を通り、新湯に戻る途中、タヌキの「溜め糞」に出会う。



旅館に戻り、内湯と外湯巡りの温泉三昧の後、夕食。二次会は急遽不参加となったAYさんの差し入れの高級焼酎を一同満喫。



早朝から温泉を楽しむ。男性の利用時間にもかかわらず露天風呂に入浴していた妙齢の女性と混浴体験をした幸運な人もいた。

塩原温泉を通り、那須高原に向かう。那須湯本からハイウェイを登り、平成の森フィールドセンターに到着。ふれあいの森を散策する。アオハダの赤い実、ツルウメドキのオレンジの実、ヤシャブシの黒い果穂、イタヤカエデの薄黄色の翼果、ミズキの赤いサンゴ(散房花序)、ツルアジサイとイワガラミの萼片の違いなど充実した晩秋

の観察会となった。落差20mの駒止の滝を眺め、センターに戻る。

オープニングで混雑しているビジターセンターと鹿の湯をパスし、「小椋」で手打ち蕎麦を食べ。道の駅に立ち寄り、帰路についた。(企画担当・土金)



活動担当 土金

【次回の活動予定】

12月4日(日)

第2フィールド

サークル埼玉の皆さんが参加され、コナラの植樹を行います。

参加希望者はメンバーメールにてお知らせください。

活動担当 武田

【お知らせ/募集】

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「^{しほり}菜」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山及び三芳町で里山の手入れをおこなっています。

会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。

私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。

また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画計画していますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

【編集後記】

最近さほど忙しくはないけれど少し手抜きをきめこんで、宅配料理を2週間程続けてみました。我が家は少人数になってから大分経っていますが、人数の割に量を多く作ってしまい余れば「もったいない」精神で綺麗にお腹に片づけてしまうようになってきました。さすがに宅配料理は量、味、カロリーは申し分なく美味しく頂きました。でも日が経つにつれ午後の時間の過ごし方が物足りなくなり、楽しくなくなってきました。

毎日献立を考え、材料選びにスーパーに行かなくてよくなったのに。出来上がったものを頂くこんなに良いことはないのに…

考えてみれば、食べたいものは自分で作る。楽をすることと、満足をする事の両立は難しいようです。

緑川

植物の栞

番外編

1年間、毎年受験している財団法人自然環境研究センター「生物分類技能検定」の勉強内容の一部をこのコーナーで「植物のいろいろなしくみ」としてとりあげてきました。

11月6日(日)に3回目の試験を受けてきましたが、また来年に向けて勉強していきます。

去年の合格率は10%でした。

今年私が受けた教室には100人程度の、おおむね植物調査を仕事にしているであろう面々が勢揃いです。しかしこの中の10人程度しか合格しないのかと思えば「来年もがんばろう」と、すでにあきらめの境地です。

今年の問題の一部です。まだ正解は知りません。

- ・ スイカズラ科に属する植物をひとつ選びなさい。
1. ガグウツギ 2. タニウツギ 3. ドクウツギ 4. ヒメウツギ
- ・ オトコエシと同じ科に属さない植物をひとつ選びなさい。
1. カノコソウ 2. キンレイカ 3. ツボクサ 4. ノヂシャ
- ・ バラ科に属する植物をひとつ選びなさい。
1. キレンゲショウマ 2. トリアシショウマ 3. ヤマブキショウマ
4. ルイヨウショウマ
- ・ つぎの記述にあてはまる科をひとつ選びなさい。
葉は互生して、たく(托)葉があり、多くは3出複葉または羽状複葉をなす。
小葉は多くはきょ(鋸)歯がない。がく(萼)片は合着して筒状になる。
花弁は5枚、雄ずい(おしべ)は多くは10本、雌ずい(めしべ)は1心皮からなる。
1. アブラナ科 2. キンボウゲ科 3. シソ科 4. マメ科

あ

森づくり集団「栞」事務局

アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp

ホームページ <http://mori-shiori.sakura.ne.jp/>

事務局長 緑川睦子